

平成29年度 下水道技術海外実証事業の評価項目および配点

		配点	評価の段階				
			A	A'	B	B'	C
実現性	工程計画		10 工程計画が極めて適切である(10点)	工程計画が妥当である(7点)	工程計画が概ね妥当である(5点)	工程計画の適切さにやや欠ける(3点)	工程計画に矛盾がある(0点)
	実施体制		10 担当者の役割分担が極めて明確であり、且つ担当者が豊富な実績を有している(10点)	担当者の役割分担が明確であり、且つ担当者が実績を有している(7点)	担当者の役割分担が概ね明確であり、且つ担当者が実績を有している(5点)	担当者の役割分担が概ね明確であり、且つ担当者の実績が乏しい(3点)	担当者の役割分担が不明確であり、且つ担当者の実績が乏しい(0点)
	課題・ニーズの把握		20 現地の下水道に係る課題・ニーズの整理が優れている(20点)	現地の下水道に係る課題・ニーズが整理されている(15点)	現地の下水道に係る課題・ニーズが概ね整理されている(10点)	現地の下水道に係る課題・ニーズの整理がやや不十分である(5点)	現地の下水道に係る課題・ニーズの整理が不十分である(0点)
	現地政府との調整状況		10 実証試験の候補地が確定しており、現地下水道関係者との調整が概ね完了している(10点)		実証試験の候補地が確定しており、現地下水道関係者に用地・施設の利用に関する打診を行っている(5点)		実証試験の実施に関する了解を得ているだけで、具体的な場所等が決定していない(0点)
	小計		50				
有効性	技術の確認		10 実証試験の目標が明確であり、実証項目が適切に設定されている(10点)		実証試験の目標および実証項目が設定されている(5点)		実証試験の目標および実証項目の設定が不明確である(0点)
	モニタリング		10 経過観察による評価が適切に行われるよう、モニタリングの時期・回数・場所が適切に設けられている(10点)		経過観察による評価が適切に行われるよう、モニタリングの時期・回数・場所が最低限度、設けられている(5点)		実証試験のモニタリングが不十分であるため、経過観察による評価が不可能(0点)
	課題・ニーズとの適合性		20 実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性が極めて高い(20点)	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性が高い(15点)	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズが適合している(10点)	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性がやや低い(5点)	実証試験の技術と現地の課題解決・ニーズの適合性が低い(0点)
	小計		40				
普及可能性	実施時期の妥当性		10 現地状況に鑑み、実証試験の時期が極めて適切である(10点)		現地状況に鑑み、実証試験の時期が適切である(5点)		現地状況に鑑み、実証試験の時期が不適切である(0点)
	ビジネス方策		20 現地の課題に適合したビジネス戦略が極めて明確であり、現地での普及展開が大いに期待できる(20点)	現地の課題に適合したビジネス戦略が明確であり、現地での普及展開が期待できる(15点)	現地の課題に適合したビジネス戦略が概ね明確であり、現地での普及展開の可能性はある(10点)	現地の課題に適合したビジネス戦略がやや不明確であり、現地での普及展開の可能性がやや低い(5点)	現地の課題に適合したビジネス戦略がやや不明確であり、現地での普及展開の可能性が低い(0点)
	自主活動	積極性	15 自ら極めて積極的に現地政府や市民へのPRを行うことにしている(15点)	自ら積極的に現地政府や市民へのPRを行うことにしている(12点)	自主的に行う現地政府や市民へのPRが限定されている(8点)	自主的に行う現地政府や市民へのPRの積極性が乏しい(4点)	自主的に行う現地政府や市民へのPRに積極性が見受けられない(0点)
		実効性	15 極めて現実的かつ効果的な自主活動になっている(15点)	現実的かつ効果的な自主活動になっている(12点)	概ね現実的かつ効果的な自主活動になっている(8点)	自主活動の現実性・効果がやや不明確(4点)	自主活動の現実性・効果が不明確(0点)
	小計		60				
合計		150					